

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 地域スポーツ振興事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 地域スポーツ課 地域・パラスポーツ振興係 電話番号：058-272-1111(内2623)

E-mail : c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 23,641 千円 (前年度予算額： 23,641 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	23,641	0	0	0	0	0	0	0	23,641
要求額	23,641	0	0	0	0	0	4,500	0	19,141
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- 平成25年度に県民に広くスポーツに親しむ機会を提供することを目的に、ぎふ清流国体・大会1周年記念イベントを実施。
- 平成26年度から、「清流の国ぎふ2020プロジェクト」の一環として、スポーツを通じた交流人口拡大や地域活性化を図るため、各種のスポーツ教室や体験イベントを実施している。

(2) 事業内容

- 都市対抗駅伝振興事業
1月から2月に開催される都市対抗駅伝の集客・広報事業
- F C岐阜活用広報事業
- W R C活用 P R 事業

(3) 県負担・補助率の考え方

県10／10（県によりスポーツを通した地域振興、地域の絆づくり、競技水準の向上を進めるものであるため）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	36	打合せ旅費等
消耗品費	959	地域スポーツ振興事業全体に係る消耗品費
役務費	30	地域スポーツ振興事業全体に係る役務費
委託費	22,616	都市対抗駅伝振興事業、FC岐阜活用広報事業、WRC活用PR事業
合計	23,641	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ振興条例第9条
第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画

(2) 後年度の財政負担

平成25年3月に施行された「岐阜県清流の国スポーツ推進条例」の目的・基本理念にある「競技水準の向上に資する施策」「明るく豊かな県民生活の形成及び活力のある地域社会の実現」「地域の絆づくり及び地域の活性化」などを実現するための事業であり、今後も事業を継続する。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

子どもから大人まですべての県民が生涯にわたってスポーツに触れ、親しみ、心身ともに健康で活力に満ちた生活が送れるよう、スポーツを通じた地域づくりを推進するため、郡市対抗駅伝振興事業、一流アスリートによるスポーツ教室を開催し、スポーツ実施率の向上を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H18)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①スポーツ実施率	37.9%	47.4%	65%	65%	65%	72.9%

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	2年延期した第12回大会を2022年（令和4年）10月16日に開催。万全のコロナ対策を講じて安全安心な大会運営を行い、参加選手のモチベーション向上や県民への周知に取り組んだ。 県産品PR事務費（消耗品費）においては、岐阜オープンクラシック（3月開催）で副賞を提供し、県産品のPRに効果があった（ツアーオブジャパン（5月開催）は縮小開催（岐阜は中止））。
	指標① 目標：65.0% 実績：49.1% 達成率：75.5%
令和5年度	第13回大会を2023年（令和5年）10月15日に開催。新庁舎で初めての開催となり、県庁車寄せとぎふ結のもりをメイン会場としたため、一体感のある大会となった。 ぎふ結のもりで幼児から小学生向けの「足が速くなるダンス体験」と「陸上教室」のイベントを新しく企画し、多くの子どもたちが申し込んでくれた。（当日は雨天中止）
	指標① 目標：65.0% 実績：51.8% 達成率：79.7%
令和6年度	ぎふ結のもり会場では、昨年度雨天のため中止となった「足が速くなるダンス体験」と「陸上教室」を実施した。講師として、岐阜大学の春日教授と400メートルハードル北京オリンピック出場の青木氏を迎え、事前申込以外にも多くの子どもたちが参加した。また、トップアスリートに触れる貴重な機会となり、運動の楽しさも味わえる体験なった。
	指標① 目標：65.0% 実績：47.4% 達成率：72.9%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	・清流の国ぎふスポーツ推進条例に基づいた取り組みであり、実施の必要性が高い事業である。 ・県が進める施策であるため、県が主催することが妥当である。
(評価) 2	・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 駅伝振興事業は、参加選手のモチベーション向上、県民への当駅伝に対する周知の効果が得られた。
(評価) 2	・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 駅伝振興事業は、前年度実績（屋台村売上、選手・来場者アンケート）をもとに、業務内容の改善と効率化を図っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

駅伝振興事業においては、プレイヤーズセンタードの視点から参加選手に負担がかかるないことを第一に、当駅伝大会の盛り上げを図っていく。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

駅伝振興事業において、平成28年度から大型モニターを使用した実況中継を行っている他、第13回（令和5年）大会では県庁舎完成に伴い、メイン会場を県庁車寄せ、ぎふ結のもりに変更したことで一体感が高まり、選手・関係者・観客からは好評を得た。集客性の高い体験教室の実施や実況中継の内容向上、屋台村・PRブースの改善を行い、引き続きプレイヤーズセンタードの視点から継続して実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	